

通信機能付きドライブレコーダーを活用した
安全運転支援サービス「Driving!」
損保ジャパンとパナソニックの共同開発による
リニューアルした端末の提供開始
～端末機能を活用した事故発生時の“つながる”安心を実現～

損害保険ジャパン株式会社(代表取締役社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン」)は、2021年9月から、通信機能付きドライブレコーダーを活用した安全運転支援サービス「Driving!※1(ドライビング!)」のドライブレコーダー(以下「端末」)をパナソニック株式会社(代表取締役社長:楠見 雄規)およびパナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社(代表取締役社長:片倉 達夫、以下「パナソニック」)※2と共同開発した端末にリニューアルし、提供開始します。端末機能を活用した新たなサービスや専用スマホアプリを追加することで、より一層の安心・安全をお客さまへ提供するとともにお客さまの体験価値向上を目指します。

※1 「Driving!」は、「ドライブレコーダーによる事故発生時の通知等に関する特約」を付帯した自動車保険契約に提供される損保ジャパンのサービスです。

※2 パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社がパナソニック製の端末と通信サービスを統合し、事故発生時の様々な現場連携をサポートします。



1. 背景・目的

ドライブレコーダーは、2016年1月の軽井沢スキーバス事故を契機に業務用車両への装着義務化が進み、2017年6月の東名高速道路で発生したあおり運転事故により、一般車両への普及も急速に進んでいます。

損保ジャパンは、2018年に個人向け安全運転支援サービス「Driving!」の提供を開始して以来、事故のない社会の実現に向けて取り組んできました。サービス提供開始前後を比較すると、事故削減の効果があることも判明しており、「高齢ドライバーによる事故の増加」や「あおり運転」といった社会課題の解決に加え、ドライブレコーダーの映像を保険会社の事故対応に活用することで、事故解決におけるお客さまの納得感の向上および事故解決の迅速化にも寄与しています。

今回損保ジャパンとパナソニックの共同開発による「Driving!」のリニューアルにあたり、端末本体に音声通話機能、Wi-Fi※通信機能を備えた新しいサービスを提供します。

万が一の際には、端末本体から直接、損保ジャパンのオペレーターとつながり、必要に応じてALSOKかけつけ安心サービスを手配するなど最適なサポートを提供します。また、日常の運転時には前方衝突警告などの4つの安全運転サポート機能を備え、運転後には充実したセルフメンテナンス機能でお客さまへのさらなる安心・安全の提供と、事故が起こらない社会づくりに貢献します。

※Wi-Fiは「Wi-Fi Alliance」の登録商標です。

2. リニューアル提供内容

(1) 端末の刷新

フルハイビジョンの映像で夜間や雨天時であっても信号の色やナンバープレートなどの証拠を高精細に記録、日本の準天頂衛星システム「みちびき」に対応したL1S信号が受信可能な端末を採用しました。また、大容量のバッテリーを搭載したことにより、事故等による電源喪失時であっても端末の動作はもちろん、通話機能を用いた緊急連絡もできます。加えて、前方カメラと同様にフルハイビジョンを備えたリアカメラをオプションで購入していただくことで、あおり運転や後方からの事故を記録することが可能となり、より安心して運転することができます。



リアカメラの
追加が可能



オプション（有償）でリアカメラを
購入可能です。

(2) 新たな安全運転支援サービスの開始

端末機能のさらなる活用、事故発生時における“つながる”安心のさらなる向上のため、端末とWi-Fiでつながる専用スマホアプリを無料で提供し、従来の端末にはなかった新たな体験をお客さまへ提供します。



運転記録

月間レポートに加え、運転ごとの評価やヒヤリハット分析を提供します。
タイムリーな情報提供で安全運転意識の向上につなげ、未然に事故防止を図ります。

動画

事故による強い衝撃を検知した場合に、映像（衝撃検知前10秒、後5秒）が自動的に損保ジャパンに連携されます。強い衝撃が発生しないような事故の場合、専用スマホアプリから映像をダウンロードし、損保ジャパンへ送信することが可能です。

事故対応

万が一事故が発生した場合、事故発生現場で対応が必要なことがすぐにわかります。また事故解決までの流れも確認できます。

駐車位置確認

端末と専用スマホアプリの連携により、駐車時の位置情報を活用し、車をどこに駐車したか、ドライバーにお知らせします。車が盗難にあった場合も車の場所を特定でき、盗難時の対策にも活用できます。

[1] もしもの時の事故対応サポート

端末が強い衝撃を検知、または手動で緊急ボタンを押下した際、事前に登録したご家族、保険代理店に自動で通知がいくことに加えて、端末に備えた音声通話機能を通じてオペレーターと直接通話ができます。また、オペレーターを通じて全国2,400か所待機するALSOKのガードマンを24時間いつでも事故現場へかけつけ手配※することや、お客さまとの通話内容と位置情報にもとづき株式会社日本緊急通報サービス「HELPNET」と連携し、消防・警察へ連絡、救急車両等の出動を要請することができます。

※自動車専用道路（有料道路を含みます。）、山間部または島しょ部など一部かけつけできない場所があります。

[2] 運転中のサポート機能

撮影した映像を解析し、危険を未然に回避または軽減するために、前方衝突・車線逸脱・前方車両発進・逆走を検知した場合に画面表示と警告音で注意喚起し、ヒューマンエラーの未然防止をサポートします。

[3] 安全運転スキルをデータで見える化

ご自身の運転の振り返りや運転能力の維持・向上を図ることができる運転診断レポートがあり、専用スマホアプリやドライバーズページ（web）で確認できます。運転スコアの推移やヒヤリハット※1などを確認することで、これまで意識してこなかったご自身の運転の特徴を知り、要注意ポイントを把握できます。さらに運転特性スコア※2が80点以上である場合は翌年度の自動車保険料を5%割引く走行特性割引※3が適用されます。

※1 重大な事故になりかねない、運転中のヒヤリとした体験・ハッとした体験のことを指します。

※2 損保ジャパンが定める走行情報等のデータにもとづき算出したスコアです。

※3 走行特性割引は、自動車保険の主契約の保険始期日が2021年1月1日以降のご契約が対象です。

(3) 特約保険料

月々850円※

※保険期間1年の場合の保険料（一括払の場合、年間9,720円）です。団体扱・集団扱の場合などは保険料が異なります。また、月々の特約保険料は分割割増5%が適用される契約の場合を記載しています。

3. 提供開始時期

2021年7月1日 損保ジャパン取扱代理店で申込み受付開始

2021年9月1日 サービス提供開始（端末の発送は8月中旬以降を予定）

4. 今後の展開

損保ジャパンとパナソニックは、本サービスにとどまらず事故防止ノウハウおよびさまざまなセンシング技術を活用して得られるデータを掛け合わせ、新しいモビリティ社会の実現に向けたサービスの提供を目指し、連携していきます。

今後も、事故が起こらない社会づくりに貢献するとともに、高品質な事故対応を行い、安心・安全な社会を構築するための一助となることを目指します。

▼「Driving!」専用ウェブサイト

<https://www.sompo-japan.jp/tsunagaru-dorareco/>

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。